

平成29年度 札幌工科専門学校自己評価結果

1. 教育理念・教育目標

教育理念

少人数制教育による親切・丁寧・分かり易い教育

教育目標

- ・基礎学力の向上
- ・専門の基礎知識・技術の習得
- ・社会人になるためのマナーと教養を身につける

2. 評価基準

5	4	3	2	1
良	やや良	普通	やや不十分	不十分

3. 評価項目及び評価

I 教育理念・目標

項目	H28 評価	H29 評価	所見
①教育目標は、学生・学校の実態に即し、本校の目指す目標として適切であったか	4.0	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・分かるまでの教育のため、生徒、教員の余裕が必要。 ・入学してくる学生の実態と乖離している。専門学校としての使命感を示す指針がない。 ・学生に対しての指導目標は徹底していると考ええる。 ・概ね適切であった。
②学校教育目標は、学生に周知され、学生生活を送る上での指針となっていたか	3.6	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導に対する、教員の意識改革が必要と感じる。 ・指導方針が教員間で統一されていない。 ・乱れた服装、身なりの学生が一部見られるが、学校の指導は適切に行われている。 ・指針となっている。 ・学校生活を過ごす上での指針に概ねなっていた。
③社会経済のニーズ等を踏ま	4.0	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に対する対応が見えない。

えた学校の将来構想を抱いているか			<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間で将来構想は共有されていないと思う。 ・多様な入学生が増加しているので、それに対応する必要がある。 ・具体的な現実を踏まえた構想が示されていない。構想を具現化するための計画指針がない。 ・I T Cの高度化、A I（人工知能）の急激な進化に対して、人間力教育（完成を養う）と専門知識の高度化が一層必要。その対策が急務である。 ・5年先のビジョンが見えない。
④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.8	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・将来構想について、保護者、生徒に対し対策不足に感じる。 ・入学式、体験入学等で周知している。 ・周知方法の指針がない。 ・学生・保護者に対してはガイドブックを全員に配布している。
平均	3.9	3.5	

II 学校運営

項目	H28 評価	H29 評価	所見
①本校の経営方針について共通理解が図られ、日々の教育活動に反映されていたか	3.6	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動について、理解度が不足していると感じる。 ・教員間での認識に差が大きい。 ・反映されている。 ・新任の先生に伝える機会があると良いと思う。 ・明確な活動方針がないため、教員間の統一した活動がない。専門学校としてのエンドユーザーが何処なのか理解していないため、学生の機嫌取りを行っている教員がいる。 ・理事長からの助言を頂きたかった。 ・経営方針について、概ね共通理解が得られているものと思う。
②学校運営は協働体制のもと、円滑に進められたか	3.3	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の共通認識が不足している。 ・協働体制になっていない。 ・指示体制に不備を感じた。 ・組織体制にとまどいがあり、スムーズとは言えなかった。 ・古参の教員に振り回される部分がある。

			<ul style="list-style-type: none"> ・徐々にではあるが、円滑になりつつある。
③学校行事は的確な計画・内容のもと、円滑に進められたか	4.3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者は理解しているが、もう少し話し合いがほしい。 ・そのつど不協和音を生じる。 ・計画・内容に問題はないが実施に当たり、教頭先生が孤軍奮闘しており、他の教員の積極的な協力が無い。 ・円滑に進められている。
④人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.1	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・整備されているが、出張や代休等についてあまり共有されていないように感じる。 ・数字を記載した明確なものがなく、経営者のその都度の考えによるところが大きい。 ・学生から、目安箱に苦情メールが届くなどがあり、対策が必要。
⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.1	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・会議に成果が低い。 ・明確なものがない。損益分岐点等の分析も成されないまま、設備投資等が一部の教員による原案のまま上申され、組織的検討が皆無。
⑥業界や地域社会等に対する法令を遵守する体制が整備されているか	3.6	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・法令に対する考えは整備されている。 ・体制が整備されているか解らない。
⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4.1	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開は概ね処理されている。 ・ガイドラインに則り、HPで公開している。
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.6	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化はもう一步のところまで来ている。 ・充実していると思うが、フォルダー管理が必要。 ・学校共有はどちらを使えばよいのか？ ・学生用ノートパソコンが購入されたが、一部の教員による独占的な使用がされているため、効率化が図られていない。
平均	3.6	3.6	

Ⅲ 教育活動

項目	H28 評価	H29 評価	所見
①教育課程（方針・内容）は、本校の教育理念・教育目標を適切に反映されたもので	4.0	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・委託生と公務員志望の学生との差、目標として疑問もある。 ・昨年のカリキュラム変更に伴い、一部で適さないと

あったか			<p>ころが出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明確な指導方針が無いため、教員間のばらつきがある。 ・他の教員の講義内容を学生の前で批判する教員がいる。
②今年度の教育課程編成は、適切・効果的であったか	3.7	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者の意向が汲み取られていない。 ・実施率は守られたが、授業計画は立てにくかったのではないかと思う。 ・適材適所の教員配置ではない。 ・H28、H29のカリキュラムが混在し、合わせにくい所があった。
③教科科目の学年配置や時数の配分は適切であったか	3.4	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・書式等に改善が必要。 ・シラバスの校閲が不十分で載っていない科目がある。 ・測量機器が旧式すぎるため、即戦力としての効果が期待できない。 ・教科科目が多くなり、シラバス通り授業を進めることができない教科があった。
④シラバスの内容や使用教材は適切であったか	3.9	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の配置、時間はどうか。 ・バランスが取れていない。 ・学年配置に問題がある。 ・ECの製図が多すぎる。 ・後期1月以降の授業は予定を消化するだけの対応と考えている教員がいる。 ・後期中間試験後、4回しか講義のない科目があった。 ・一部の教員に教科科目が多くなり、平滑にする対応が必要。
⑤授業は年間指導計画どおりに進めることができたか	4.1	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・もともと無理のある部分がある。 ・学生数に対して、教員がどう対応するかが課題。
⑥少人数制教育による指導の成果が発揮されていたか	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数制は今となっては発揮されていない。 ・基本的授業が成立していない教科もある。 ・少人数制教育を明文化した指針がない。 ・合格のボーダーラインの学生に対する指導が、今後の課題である。
⑦学生の理解度に合わせ、「よく分かる授業」の推進に努	3.3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・よく分かる授業は生徒の学力差や、やる気をどう発揮させるかに掛かっている。

めたか			<ul style="list-style-type: none"> ・学力差が激しく、差を埋められない。 ・学生に「よく考える力」が必要とした教育方針で行った。
⑧成績不振者への対応は適切に行われていたか	3.5	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕をもった対話を行うことが必要と感じる。 ・数学や構造力学は補講を行っていた。 ・授業時間内に声をかけ、適切なプリントを配布して理解度を高めた。
⑨学生による授業評価を学習指導の改善に役立てることができたか	3.7	3.3	
⑩教科科目の評価・評定は適切に行われたか	4.1	4.2	<ul style="list-style-type: none"> ・一部、解答を事前に渡すなど、試験として成立していない教科がある。 ・学習態度、実習態度の評価を数値化した。
⑪定期考査・追考査の実施(時期・時間等)は適切であったか	3.8	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な指導の上で再考査が行われていない。
⑫資格取得指導は適切・効果的に進められたか	3.7	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のものは安定しているが、新しいものの指導体制は改善の余地がある。 ・施工管理技士の合格率100%を達成できた。
⑬現場見学・インターンシップは適切・効果的に進められたか	4.2	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の事前指導と発表会の指導に更なる充実を求める。
⑭学生へのマナー指導や社会性を身に付けさせる指導は適切に行われ、満足する状況にあるか	3.1	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会は良かった。レポートを作り、人前で話すことは意義がある。 ・教員間で指導の差がある。理解していない教員がいる。 ・満足する状況ではなかった。 ・外部から、工科の学生は挨拶してくれるので良いと言われた。 ・指導規則の解釈に教員間で統一性が無いため、学生に戸惑いが見られた。 ・学校のマナーの指導は、学生に徹底している模様。できれば、専門家による講習を受講し改善していくと良い。 ・就職活動、面接指導を通じて助言した。その効果に個人差が大きかった。 ・トイレのドアが破損された以外は、やや満足。

⑮学生個々の理解に努め、適切な指導が行われていたか	3.7	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く耳を持って、人の話を聞く。 ・成績不良の学生を排他的にする教員がいる。
⑯体育大会、学園祭等は学生主体のもと、その目的を達成できたか	4.1	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・準備開始が遅く、時間が十分に取れなかった。
⑰関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・連携はされていない。 ・野外実習の質と量を増やせないか、学科長と話し合いを進めている。 ・問題があればその都度検討している。
⑱職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4.1	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の意見を取り入れる形がない。 ・取り入れているのではないかと思う。 ・外部関係者の範囲、資格、地位等の構成バランスが不明確である。 ・森林組合等の林業関係者、造園関係者との意見交換は機会があれば行っている。 ・職業実践専門課程で評価を受けている。
⑲人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.2	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・若い先生が欲しい。新たな感覚で。 ・少ないながら協力してできたが、バランスが崩れてしまった。 ・必ずしも満足できる状態ではない。 ・欠員が出れば対応が難しい。 ・即戦力を指導できる教員が不足。実務における規定・基準を十分に理解していない教員がいる。
⑳関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.9	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を取って、研修を行うことが必要である。 ・組織的な取り組みになっていない。 ・学生と共に研修に参加している。 ・教員が技術研修に自ら参加できる体制が整っていない。 ・CPD講習を2年間実施している。 ・学外における技術講習・研修会への参加を促している。
平均	3.7	3.6	

IV 学修成果

項目	H28 評価	H29 評価	所見
①教育目標の達成度 (1) 基礎学力の向上	3.3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・教養科目が減単されてしまっている。 ・十分な達成度は得られなかった。

			<ul style="list-style-type: none"> ・文章作成の授業を取り入れた。 ・時間削減による影響が見られる。 ・著しく向上しているとは思えない。
②教育目標の達成度 (2) 専門の基礎知識・技術の習得	3.5	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な達成度は得られなかった。
③教育目標の達成度 (3) 社会人になるためのマナーと教養を身につける	3.2	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育も大切と考える。 ・手がまわっていない。 ・満足できる達成度ではない。 ・就職関連の書類作成、郵送に手間取るので指導が必要。 ・挨拶の仕方を理解できていない学生がいる。 ・一部の教員に「金を払えば何をしてもいい」とのことを吹聴するものがある。 ・専門学校なので、教養をある程度身に付けるようなカリキュラムになっている。
④進学率や就職率の向上が図られているか	4.5	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・今は就職状況が良いが、今後は不明。 ・公務員（国家）で数名の不合格者を出しているので、向上とは言えない。
⑤資格取得率の向上が図られているか	3.7	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・社会からの要請が強くなっている。
⑥退学率の低減が図られているか	3.5	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・対応は難しい。学力低下。 ・できるだけ退学者を出さない指導を行っている。
⑦卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.3	3.1	
⑧卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.5	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・施工管理（実地）の授業がカリキュラムに新設された。 ・資料がない。 ・今年度は1名のみであったが、北海道林業担い手センターを通じて民間森林企業に就職した学生は、今後も林野庁の「緑の雇用事業」枠で、キャリアアップ支援を受ける予定。 ・企業からの情報を多く取り入れている。
平均	3.6	3.5	

V 学生支援

項目	H28 評価	H29 評価	所見
①進路指導は学生のニーズ・適性等に即し、適切に進められたか	3.9	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・機会のあるごとに進めている。 ・学生の意思を尊重し、情報提供を行った。
②保護者との連携は密接・効果的に行われていたか	3.7	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項があれば、郵送・電話・面談を行った。 ・あまり密接ではなかった。 ・問題のある学生については、密接かつ効果的に行っている。
③基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	3.7	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・指導しているが、学生の意識が低い。 ・遅刻・欠席の多い学生には面談を実施しているが、改善しない者もいる。 ・資料がない。 ・時間厳守・挨拶等の指導は厳しく行っている。
④学生の安全管理のための取組等が行われているか	4.1	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・常々心掛けている。 ・ガイドライン作成中のはず。 ・実習時の口頭指示を行った。 ・特に、実習中の事故防止、小さな怪我に留意した。 ・危機管理マニュアルは作成中である。
⑤学生・保護者からの相談体制が整備されているか	3.7	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的に難しい。 ・担任中心で、複数体制になっていない。 ・必要があればその都度対応している。 ・目安箱に投書があり対応した。 ・目安箱で相談できるようになっている。 ・数名の保護者から相談を受けた。
⑥進学・就職指導に係る支援体制は整備されているか	3.9	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・受験報告書の管理の見直しと、学生への提出の徹底が必要。 ・特に公務員については、支援体制がある程度整備されている。
⑦学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.0	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・学費免除や給付金の活用を周知している。
⑧学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	3.5	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なものが検討されていない。 ・年に一度健康診断を行っているが、学校医は常駐していない。 ・整備はされていないが、体調の悪い学生には早期に診断を受けるよう奨めている。
⑨課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.0	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・学校としての方針が必要。 ・五輪技能や造林協会の講習など学生の将来を考慮し

			ている。測量大会参加も検討してはどうか。
⑩学生の生活環境への支援は行われているか	3.0	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・問題が発生すれば対応する程度。 ・下宿の経営者より情報を得ている。
⑪卒業生への支援体制はあるか	3.0	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に対応。 ・体制が確立されていない。 ・可能な限りの支援を考えている。
⑫社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.5	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの全履修。 ・十分な環境とは思えない。 ・科目履修を求める問い合わせがある。 ・教育環境が良くなるよう努力している。
平均	3.6	3.4	

VI 教育環境

項目	H28 評価	H29 評価	所見
①教室・実験室等の規模や配置は適切であったか	3.2	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・人数の動きがあり、対応が難しい。 ・実験準備に伴い使用できなかった片付け、教室の管理実施。 ・学生数の変動を考慮すれば、概ね適切と考える。 ・少人数制が形骸化している学科がある。 ・実験室は学生数に対応できていない。
②校舎内外の施設設備の充実、維持管理は適切であったか	3.8	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・一部に未理解の教員がいる。 ・ロッカールームのプライバシー等が適切ではない。
③実験実習設備、機械類の整備・活用は適切であったか	3.6	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年老朽化が進むので対応できない。 ・共通で使用できないところがあった。 ・20年使用し老朽化している物もあるので、更新を打診している様子。 ・腐食化しているものもある。 ・適時の更新、メンテナンスが行われていない。 ・測量に関しては、古い機械を随時交換している。 ・本校にある実習設備、機械類を最大限使用している。
④蔵書を含めて図書閲覧のニーズに応えられていたか	3.9	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ対応しているが、古本になっている。 ・新しいものがない。 ・図書スペースとしては狭いと考える。 ・参考図書類の最新版の整備が不十分である。

⑤情報機器の充実及び活用状況は適切であったか	4.1	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートパソコンが導入された。 ・測量ソフトの更新が急務のようだ。 ・ノートパソコンを40台導入した。測量・企業実習のプレゼン資料に効果的に活用している。
⑥校舎は衛生的（清掃・美化）に管理されていたか	4.1	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の先生によってちがうらしいと学生から聞いた。 ・昨年12月より廊下などをパートの清掃員に依頼している。 ・HRについては毎日、学生に清掃させている。
⑦防災に対する体制は整備されているか	4.3	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の確認がなく意識が希薄。
平均	3.9	3.5	

VII 学生の受け入れ募集

項目	H28 評価	H29 評価	所見
①学生募集及び入学選考は、時代の変化、学生の実態に対応したものとなっていたか	4.0	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・委託生の対応をどうするか。 ・検討の余地がある。 ・委託に頼らない入学生の確保を目指さなければならない。
②広報活動（体験入学を含む）の内容、方法、実施時期等は適切であったか	4.1	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・PRを兼ねて、相談会に参加しても良いと思う。 ・時期方法に検討の余地がある。 ・パンフレットを見直したい。
③学納金は妥当なものとなっているか	4.2	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・授業料は安い。上げて良いと思う。 ・ずっと学納金は変わっていないようなので、増税と並行して上げて良いと思う。 ・もう少し高くても良い！
平均	4.1	3.9	

VIII 財務

項目	H28 評価	H29 評価	所見
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.8	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細について認知しかねる。 ・経営計画が開示されていない。独立した経営基盤ではなく、本社依存のため将来性が不安定である。 ・学生の入学者の予測が難しいことから、長期的な予測をすることも難しい。
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.8	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細について認知しかねる。 ・職員にはわからない。

			<ul style="list-style-type: none"> ・予算収支計画票が開示されていない。必要と思われる維持管理費用が不明確である。 ・現段階の収入を考えると妥当である。
③財務についての会計監査が適正に行われているか	3.9	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細について認知しかねる。 ・行われているようだが、よく分からない。 ・財務諸表が開示されていない。
平均	3.8	3.4	

IX 法令等の遵守

項目	H28 評価	H29 評価	所見
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.5	4.1	<ul style="list-style-type: none"> ・明文化した指針・資料が開示されていないことから不明朗な実態であるため、不正が放置される可能性が高い。
②個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4.0	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・改善が成されているとは言えない。 ・若干徹底されていない部分があると思う。 ・個人情報を口外する教員がいるが、それに対する指導対策がとられていない。 ・職員の健康診断の結果を、社内回覧していることに驚いた。 ・情報は保護している。
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4.1	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・改善が成されているとは言えない。 ・個々の教員任せのため、不合理な授業内容がある。
④自己評価結果を公開しているか	3.8	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・HPで公開している。 ・資料はあるが、PDCAサイクルが確立されていないため、古参教員の力技に引っ張られるところが多い。 ・プライバシーの事もあって、全面的な個人評価の公開は疑問である。 ・学校関係者評価委員会の資料を拝見している。
平均	3.8	3.7	

X 教育活動全体及び学生の実態について、昨年度と比較して良かった点・悪かった点

<p>1. これから出てくる課題。 少子化、委託制度、入学試験、中途退学者、公務員対策、教員採用。 これらは、本校としての教育理念が問われる問題である。</p> <p>2. 教職員配置に難があり、業務の継続性が低い。その為、一部の質の低下及び結果の悪化が見られる。</p>
--

民間、公務員共に人手不足の中、苦行等の採用は活発であるが、どこも優秀な人材がほしいのが本音だと思う。過去の努力の上に胡坐をかいていると企業から信頼を無くし、学校がやっていけなくなるのではないかと危惧している。

3. 合同授業が多くなり、多人数のため、細かい指導が行きあたりづらくなってきている。
4. ノートパソコンと OneDrive が活用され、情報処理室の混雑が解消された。
5. 施工管理技士の合格率 100%が達成できた。
6. 文検定の取り組みがスタートし、レポート力を養っている。概ね希望の就職を叶えている。
7. 公務員合格のためには教養の強化が必要。
8. 教員力向上のための指導体制、支援強化が必要。
9. 目標から逆算したカリキュラムの作成や年間日程や日頃の指導を心掛ける。教員が共通の目標を持ち意識する。
10. 様々な面で、急な変更が多かった。
11. 初任教員に対する研修や、授業対応の指導要綱もなく「お手並み拝見」的な習慣が根強くある印象を受けた。また、授業・実習において非協力的な教員がいたため授業を中断せざるを得なかった。
12. 非協力的な教員による学生の前での授業批判、個人情報等の口外等により授業に支障をきたした。
13. 対象となる教員の不在な所で、その教員を批判するが教員いる。更にそれを学生に伝えるために、学生の中にも感化されるものがある。このような教員は担任となる資質が欠落していると思われる。
14. この学校の特色から、卒業後実務経験を得て国家資格を付与されるため、該当する学科の中には「資格を金で買いに来た」と、考え違いをしている者もあり授業・実習態度も不真面目である。教員を敬う心を欠けている学生が見られる。
15. 考え違いをしている学生に限って、「教え方が悪い」「授業料を返せ」などの発言があるが、試験は及第点を取っているため、単なるクレマー的な性格に起因するものと思われる。社会に出てから恐喝や、恫喝まがいの要求をする人間にならないよう願うばかりである。
16. 教員の中にも「金を払っているのだから」を発言する者がいるが「技」よりも「良質な人格」を持つ教員が必要と思われる。
17. 管理者は弱者の意見にこそ耳を傾けるべき。決して「裸の王様」であってはいけない。
18. 資格、就職決定後（11月以降）の学習意欲の低下が目立つ。

< 測量士補における実力テストに関して >

19. 試験を行っているときの0態度は集中しており昨年同様良かった。しかし、活気溢る学生が少ないことが気になった。
20. 試験の計算問題は、注意事項を守り、わかりやすく、丁寧に試験問題の解答を記載しており良かった。
21. 今年度から勤務なので比較できない。

< 良かった点 >

22. 入学選考で十分に合否について検討を行ったことで、学力向上に繋がっている。
23. 本年度は2級土木施工管理技術検定（学科）は受験者全員合格し100%を達成した。

< 悪かった点 >

24. 基礎学力向上については、教養教科の減単により向上したとは思えない。検討する必要がある。
25. 学生から届いた目安箱メールの情報に対することについては関係教員情報を提示し、十分検討して対

策改善を行う必要がある。(教員数が少ないうえ授業科目に限界がある。)

26. 新旧カリキュラムが混在し、複雑となったが、何とか無事に終了することができた。

27. 放課後に補講を入れることができたので、学力不足の学生に対処することができた。

28. カリキュラムはまだまだ充実しているとは言えないので、今後は教員同士が知恵を絞って、より充実したカリキュラムを実現して行きたい。